

\*\*\*\*\*  
**2018 年度(第 96 期)事業報告書**  
\*\*\*\*\*

技術と社会部門：

部門長 永井二郎 運営委員 37 名，総務委員 18 名  
運営委員会開催 2 回，総務委員会開催 3 回

- 1) 部門運営委員会およびそのもとに設置された総務委員会，広報委員会，表彰委員会，機械遺産委員会，ロードマップ委員会，ホームページ管理運営委員会，国際会議実行委員会，イブニングセミナー企画委員会，イブニングセミナー実行委員会，工学・技術教育委員会，技術倫理委員会，環境・エネルギー教育委員会で部門運営にあたった。
- 2) 2018 年度年次大会（9 月 9 日（日）～9 月 12 日（水）関西大学）において，OS3 件，WS2 件を企画・開催した。また，機械遺産委員会による機械遺産のパネル展示と市民対象行事を企画・開催した。
- 3) 広報委員会は，部門ニュースレター（NL）No.38 を部門ホームページ上で発行した。No.39 を 2018 年度中に発行する予定である。また，継続して NL の検索エンジンヒット率向上に関して検討した。
- 4) 機械遺産委員会は，2018 年度機械の日における機械遺産認定式典（8 月 7 日，秋葉原 UDX）に出席し，認定機械遺産 4 件を解説・報告し，開催に協力した。
- 5) 表彰委員会は，年次大会後の部門同好会において，緒方正則氏（元関西大学，長期海外出張中）に 2016 年度部門賞の功績賞を贈賞した。また，綿貫啓一氏（埼玉大学）に 2017 年度部門賞の業績賞，高藤圭一郎氏（西日本工業大学）に部門一般表彰（優秀講演論文表彰）を贈賞した。2018 年度部門賞（功績賞，業績賞）と部門一般表彰（優秀講演論文表彰）の候補について審議中である（1 月 25 日応募受付締切）。
- 6) HP 管理運営委員会は，部門の情報を逐次更新・掲載し，リンク切れなどのページの修正など、HP の充実を図った。
- 7) 工学・技術教育委員会は，2018 年度年次大会の学術講演のセッションにおいて，従来の OS 技術教育・工学教育のセッションに代わり，機械材料・材料加工部門と合同でジョイントセッション「伝統産業工学および工学/技術教育(注:英文セッション名は Applied conventional technology and education about engineering or technology)」を設けた。
- 8) 工学・技術教育委員会は，2019 年度年次大会の学術講演において，部門単独で「環境エネルギー・工学技術教育」をオーガナイズドセッションとして提案した。
- 9) 工学・技術教育委員会が学術講演のセッション運営や企画に携わったセッションとして，2018 年度年次大会のジョイントセッション「伝統産業工学および工学/技術教育」，部門講演会「技術と社会の関連を巡って：過去から未来を訪ねる」の「技術教育・工学教育」，の他に関東支部第 25 期総会講演会のセッション提案に関与した。
- 10) 工学・技術教育委員会は，委員長が 2018 年度の機械工学年鑑の「22. 技術と社会 22・2 工学・技術教育」の執筆を分担した。
- 11) 九州支部において，技術と社会部門に関連する分野のセッションを実施し，3 件の講演があった。

12) 環境・エネルギー教育委員会を発足した。また、研究会1件の新設について審議した。